

市会

いま、やらかなあかん!



笑顔

パワフル

行動力

# いのち、くらし、 平和が大事

消費税の増税、年金・介護・医療・生活保護など福祉の後退、非正規の拡大に代表される労働条件の悪化、ブラック企業の横行。今、「生きていくことに夢や希望が持てない」と言う人が増えています。

私、山本陽子は2人の子どもの母として、子ども達が未来に夢や希望の持てる社会にせなあかん!原発の再稼働も戦争する国づくりも子どもの未来を壊すものは許せない!と母親パワーで政治に声を上げようと決意したことが原点です。

住民のみなさんの思いや願いに寄り添い、実現するために全力で頑張る決意です。

## 日本共産党 山科子育て・女性委員長

# 山本 陽子

カカブロ 山本陽子

プロフィール●党東地区常任委員、新日本婦人の会山科支部常任委員。1974年兵庫県丹波市生まれ。立命館大学産業社会学部卒。在学中、障害児児童の指導員の活動などにとりくむ。新日本婦人の会で、子育てサークル、脱原発の運動などにとりくむ。家族は夫と一男一女。



山本陽子さんに  
バトンタッチを!

家庭の事情により退任いたします。あたたかくご支援いただきましたことに心より感謝を申し上げます。行動力あふれる山本陽子さんが、いのちくらしを守る仕事を引き継ぎ、活躍させていただきますようご支援をお願いいたします。

市会議員 宮田えりこ

山科民報

発行/日本共産党東地区委員会 2015年3月 〒607-8344 京都市山科区西野大手先町8-8 TEL.075-591-7851  
日本共産党東地区委員会は次の見解を發表しました。

決意から1年

## 「いま、やらかなあかん!」の思い いっそう強く



▲子育て世代と対話

## 子育てしやすい山科に!

子どもの貧困率が16%にもものぼり(厚労省調査)、社会で子どもを育てるという認識がより重要になります。うちの子も、よその子も元気に育ててほしいから、山本陽子は「保育」や「給食」、「子どもの医療費の助成」の充実こそ大切だと考えます。

政策

- ▶子どもの医療費を中学校卒業まで無料に
- ▶保育、学童の質の後退は許しません  
障害をもつ子どもの入所保障を
- ▶小学校と同じような中学校完全給食の実現を



## 豊かに歳を重ねられる山科に!

安倍政権による国民いじめの福祉削減に高齢者も介護施設労働者も大変です。山本陽子は関係者の切実な声を集め、市独自のとりくみを求めています。

政策

- ▶高すぎる国民健康保険料、介護保険料の引き下げ
- ▶特別養護老人ホームの増設。要支援の方への公的責任を果たさせます
- ▶敬老乗車証制度の改悪ストップ
- ▶老人医療助成制度の継続・拡充



▲医療・介護の実態をききとり

### ★ブラック企業・ブラックバイトは許さない!

### ★いまこそ脱原発、そして平和を守るために全力!



▲原発いらないデモ



## 山科の街づくり

皆さんと力合わせて、これからも住みやすく楽しい山科を目指します!



安祥寺川橋の  
道路拡幅が実現



災害の現場を調査



住民のみなさんと  
街のウォッチング



鏡山の循環バス  
実施・運行延長へ